

第3回労使協議会

2016秋季闘争要求 経営側より回答

11月10日(木)8時〜本社301号室において第3回労使協議会が行われました。
経営側からは山岡取締役・仲村取締役・徳山課長・志鎌課長・深澤次長が出席、執行部からは6名が出席しました。
経営側より、9月7日に提出した2016秋季闘争要求書についての回答書が手渡され、徳山課長より内容が読み上げられました。
要求項目の「出番表」「三笠山」「ウォンシュレット」については要求どおりの回答となりましたが、その他の「嘱託乗務員の基本給」「高速帰路料金」「スタッドレスタイヤ」「無線配車時の空転補償」については現状維持という回答となりました。
決して納得できる回答ではないので、継続協議としました。



『新しいメーター機への代替や、諸々の装置の付け替えに莫大な費用がかかる。最先端のシステムを導入することは乗務員の負担を軽減し、運行管理にも有効に活用できる。』このような厳しい現状下、最大限の回答をすと経営側から回答書が読み上げられました。

日交グループ連絡協議会 第11回 定期総会

11月19日(土)13時〜東洋交通本社2階大会議室において日交グループ連絡協議会第11回定期総会が開催されました。



大松副議長(ライオン交通労組)の開会の挨拶で始まり、大会議長には扇橋交通の大塚氏、書記には日立日交第2の山名氏が任命されました。
福島議長(東洋交通労組)の挨拶では「同一労働・同一賃金」を目指して「統一要求」を行うことを決定し、2014春闘から「全ての労働者負担の撤廃」と「無線配車時の空転補償の完全履行」を要求し、2014年の秋闘では「車両代替は最長6年または60万キロとすること」と「スタッドレスタイヤを全輪装着すること」を各経営に要求し、交渉を行いました。2015年6月には、13組織の代表が連盟で「P無線の改善」を要求しましたが、残念ながら未だに改善されていません。今春闘では「P無線の改善」を加えて5項目の「賃金・労働条件改善」の要求と、更に全てのタクシー労働者の政策要求である「初乗り距離短縮運賃導入反対」「ライドシェアによる白タク合法化反対」を加えた7項目を統一要求として交渉を行いました。



各組織の交渉では東洋・春闘・すばる・ライオンの各組織では賃金改定も含めて撤廃を実現しています。今後も交流を深め、「同一運賃・同一賃金」を目指して共闘を強化しましょう」と述べました。



星 事務局長

続いて、星事務局長(常任中執)より2016年度活動報告(2016年度会計報告)がありました。杉本会計監査(ワイエム交通)より会計監査報告があり、満場一致の拍手で承認されました。

2017年度運動方針を決議 同一労働・同一賃金を目指して!

続いて審議事項として

- 第1号議案 2017活動方針(案)
- 第2号議案 2017運動方針(案)
- 第3号議案 第11期予算案
- 第11期グループ協議会役員(案)

の提案がありました。
質疑では、「組織拡大についてまだ加盟していないグループ会社への取り組みを具体的にどうするか」「無線の在り方・不具合の改善要求の実現を希望している」などの意見が出ましたが、満場一致で議案は承認されました。今後も統一要求が実現できるよう団結し、運動を進めて参ります。

